



由利本荘市 人財育成アクションプラン

平成31年2月
由利本荘市



目次

- はじめに～なぜ人財育成をするのか？～・・・・・・・・・・ 02
- 事業目的～目指す地域の姿は？～・・・・・・・・・・ 03
- 計画概要
 - 事業の方向性～三つの柱～・・・・・・・・・・ 04
 - 年度別着手事業～各年で新規に取り組むもの～・・・・・・・・ 05
 - 年度計画～これからの流れ～・・・・・・・・・・ 06
- 計画内容
 - A) 学び・互いにつながり合う場をつくります・・・・・・・・ 07
 - B) 市民と共に歩む職員を育成します・・・・・・・・・・ 08
 - C) 市民と行政が互いに歩むための体制をつくります・・ 09
- 名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10



はじめに ～なぜ人財育成をするのか？～

由利本荘市では「地域を担う」をキーワードとして、平成26年より市職員および市民を対象とした人財育成に取り組んできました。これにより、異業種間交流が促進され、互いに高め合う深い関係性が構築されるなど、市の未来を見つめ考える“人財”が少しずつ増えてきました。

また、平成30年7月1日、市内外からたくさんの方の応援を得て誕生した「鳥海山木のおもちゃ美術館」は、多くの来館者による賑わいが生まれただけでなく、潜在していた地域の人々の活躍の場となり、人も地域も輝くことのできる拠点となりました。

そのほか、きめ細やかな移住者支援や、空き家・空き店舗の生まれ変わりなど、市内における様々な挑戦により、ささやかではありますがこのまちには「新たな息吹」が感じられるようになってきました。

人口減少時代にある今、本市においてもその対策が重要なテーマではありますが、「人口を増やすこと」だけにとらわれず、地域に暮らす一人ひとりが心豊かに幸せに暮らすことが大切であると考えます。そのためにも、由利本荘市では、未来に希望をもって活動する人が増え、互いにつながりあうことでさらに活力を生み出す循環あるまちをめざし、これまで以上に人財育成に力を入れていきます。



事業目的 ～目指す地域と人々の姿は？～

★由利本荘市に住む一人ひとりが心豊かで幸せに暮らす

幸せに向けて活動する人が増える⇒寛容な地域が醸成

⇒さらに活動する人が増える⇒幸せに暮らすことの出来る地域に

★「希望活動実践者」&「横結人材」を増やします

＜希望活動実践者＞

地域の将来に希望を持ちつつ
自らが考える幸せに向けて活
動する人たち

＜横結人材＞

地域にあるいろいろな思いや力を
「ごちゃまぜ」にして結び、新た
な価値を生み出す人たち

★A) 学び・互いにつながりあう場をつくります

★B) 市民と共に歩む職員を育成します

★C) 市民と行政が共に歩むための体制をつくります

人財が増えることで、地縁だけではない多様なコミュニティを育むことにつながります。



計画概要 事業の方向性～三つの柱～

柱		
	内容	主体
A) 学び・互いにつながりあう場をつくります		
	由利本荘市に関わりのある多様な人がつながりあう場において、新たな学びや出会いを通して、自身のあり方や願いなどを見つめ直します。	市民 行政
B) 市民と共に歩む職員を育成します		
	市民の願いや思いを支え実現するため、市職員の施策立案能力を高めるとともに、市民が力を最大限発揮できるためのサポート力を身につけます。	行政
C) 市民と行政が共に歩むための体制をつくります		
	行政ができること、市民ができることをふまえて、共に力を出し合い新しい価値を生み出していく体制を整えるための検討を進めます。	市民 行政



計画概要 年度別着手事業～各年で新規に取り組むもの～

★ 1年目（2019年度）

- ・ A) 学び・つながりあうための機会の設定
- ・ B) 市民伴走のための職員研修の実施
- ・ C) 市民協働事業提案コンテストへの参加
- ・ C) 市民活動のサポート体制検討

★ 2年目（2020年度）

- ・ B) 職員提案事業のブラッシュアップ
- ・ C) 市民協働事業の実施
- ・ C) 市民活動のサポート体制構築及び運用

★ 3年目（2021年度）

- ・ B) 職員提案事業の促進
- ・ C) 市民提案事業のブラッシュアップ



計画内容

A) 学び・互いにつながりあう場をつくります。

□ 未来ラボ（仮称）をはじめます。

由利本荘市に住む、または通う様々な人が集まる中で、共に学び、緩やかに語り合うことで「あなたの幸せな暮らし」そして「あなたの〇〇したい」を見つけます。

Point！：講義だけでなく、ワークショップなど対話を重視します。
オープン講座も実施し幅広くつながる機会を大切にします。
希望者には外部研修の参加を支援します。

□ ゆりほんサイトを継続します。

希望活動実践者を囲みながら、これまで知ることの無かった人や活動を知り交流を広げます。

Point！：希望活動実践者の活動内容や想像する幸せな暮らしなどを聴く機会にします。
テーマに沿って話し合いながら、多様な考え方に触れる機会にします。



計画内容

B) 市民と共に歩む職員を育成します。

□ 横結人財育成研修を実施します。

行政が市民活動を支援する際に大切となる

「聴く、伝える、共に考える」などの姿勢を学びます。

Point! : 対話や体験型研修を通して考える経験を大切にします。

□ 外部研修（土日集中セミナー等）へ参加します。

テーマについて学び、参加報告会を通して伝える力を養います。

また、他地域に暮らす多様な人々と出会い、考え方に触れ、視野を広げます。

Point! : 研修参加後は職員に対する報告会を実施し、学びのフィードバックを大切にします。

□ 職員提案事業を活用します。

「気づき、考え、実行する」のサイクルを見える化し、アイデアを事業化する力を養います。

Point! : 募集を含めた運用方法について見直し、効果的な活用を検討していきます。



計画内容

C) 市民と行政が共に歩むための体制をつくります。

□ 市民活動をサポートする体制を整えます。

市民のアイデアを実行に移すまで、行政としてどのようなサポートが必要か検討を進めます。

Point! : 市民が安心して挑戦できるよう、相談しやすい環境づくりを大切にします。

□ 市民提案型協働事業コンテストへ参加します。

市が提示するテーマに対して、市民団体や学生団体からアイデアを募集するコンテストに参加し、市民と行政が協働で取り組む事業の実施を目指します。

Point! : これまでの人材育成事業の参加者が、学びや気づきを生かしてアウトプットできる環境づくりを大切にします。



名簿

由利本荘市人材育成連携事業推進検討委員会（※順不同）

委員長	阿部 太津夫	由利本荘市副市長
副委員長	原田 正雄	同総務部長
委員	小川 裕之	同総務課長
	三森 隆	同総合政策課長
	鈴木 顕	同総合政策課主査
	加藤 淳子	同地域振興課主査
	東海林 彰幸	同矢島教育学習課主査
	神坂 雪江	同商工振興課主査
	熊谷 公汰	一財) 地域活性化センターへ派遣
	前神 有里	一財) 地域活性化センター人材育成プロデューサー
事務局	加賀谷 幸子	由利本荘市総務課参事兼課長補佐
	小関 公祥	同総務課主席主査
	神坂 文康	同総務課主査
策定支援	須藤 宇道	一財) 地域活性化センター人材育成室副参事